

□ 要請番号 (JL50325B22)

募集終了



国名	職種コード 職種	年齢制限	活動形態	区分	派遣期間	派遣隊次
ボツワナ	C201 家畜飼育・飼料作物		個別	新規	2年	・2026/2・2026/3・2027/1

【配属機関概要】

1) 受入省庁名（日本語）

子ども福祉・基礎教育省

2) 配属機関名（日本語）

トウト・ボスワリハビリテーションセンター
N

3) 任地（サウスイースト県ラモツワ）JICA事務所の所在地（ハボロネ）

任地からJICA事務所までの交通手段、所要時間（バスで約1.0時間）

4) 配属機関の規模・事業内容

任地のラモツワは、ボツワナ南東部に位置する人口約3万人の小さな町。配属先は1981年に設立されたNGOで、16歳から35歳までの発達障害や知的障害を持つ若者に職業訓練やリハビリテーションを提供している。センターでは、園芸、洋裁、革細工の指導の他、日常生活に必要なスキルや基礎的なコンピュータ操作も指導している。

【要請概要】

1) 要請理由・背景

配属先は既に実施している野菜や観葉植物、果樹栽培を拡大し、家畜飼育を含む複合型農業への移行を計画している。現在は職業訓練、施設内での消費、収入創出のため小規模の養鶏、養兎、養蜂も行っている。今後、養豚、魚の養殖、小規模畜産(繁殖、食肉、乳製品製造)分野を強化していくことを想定しているが、その分野を指導できる人材がないため今回の要請に至った。派遣された隊員には同僚と共に、センターの家畜飼育や畜産に関する知識や技術を高め、職業訓練を受ける学習者に指導することが期待されている。また、現在、マーケティング隊員が活動中で、青少年活動の隊員要請も出ているため、他の隊員との協働も期待されている。

2) 予定されている活動内容（以下を踏まえ、隊員の経験をもとに関係者と協議して計画を立て、柔軟に内容を変更しながら活動を進めます）

配属先同僚と協力して、主に以下の活動を実施する。

1. 家畜飼育や作物栽培の手順、設備のメンテナンス、安全上の注意点等を学習者に指導する
2. 家畜の餌やり、飼育小屋の掃除、メンテナンス等の仕事を学習者に割り振る
3. 家畜の飼料、体重、健康状態、乳量等を調査し、飼料の配合や繁殖計画を作る
4. 家畜の飼育設備や機器等を点検し、必要な作業を支援する

3) 隊員が使用する機材の機種名・型式、設備等

畑(3.8ha)、養鶏小屋、養兎小屋、講義用の教室、執務室

4) 配属先同僚及び活動対象者

事務職員:10名(30歳~47歳)

職業訓練講師:6名(37歳~52歳)

リハビリテーション部門担当者:1名(36歳)

ボランティア(卒業生含む):10名(20歳~36歳)

活動対象者:職業訓練生徒(16歳~35歳の発達障害・知的障害を持つ男女約60名)

5) 活動使用言語

英語

6) 生活使用言語

英語

7) 選考指定言語

英語(レベル:C)

【資格条件等】

[免許] : ()

[学歴] : (専門学校卒) 農学系 備考 : 実技指導をするため

[性別] : () 備考 :

[経験] : (実務経験) 2年以上 備考 : 実技指導をするため

[汎用経験] :

- ・ NGO・NPOでの活動経験
- ・ 障害者を対象とした活動経験

[参考情報] :

- ・ 専門学校卒または大卒 必ず
- ・ 農学系または畜産系 必ず

任地での乗物利用の必要性

不要

【地域概況】

[気候] : (サバナ気候) 気温 : (0~40°C位)

[電気] : (安定)

[通信] : (インターネット可 電話可)

[水道] : (安定)

【特記事項】**配属先Facebook**

着任後、現地語学訓練(ツワナ語)を実施。